

第16回近畿公立高校テニス大会 女子団体優勝!!

日時:平成31年1月5日・6日 場所:大阪マリントennisパーク北村



この大会へ出場するためには兵庫県予選で3位以内が条件です。(昨年度優勝枠がプラスされるため今年は4位以内)

年度当初は2年部員が3名しかおらず、出場も難しいと思いましたが、終わってみると「**近畿公立優勝!**」という予想もしない結果となり、本校に優勝カップが戻ってきました。

この大会はダブルス2組、シングルス3名の合計5ポイントで勝敗が決まります。また全員がジュニア選手というチームは皆無で、高校からテニスを始めた選手がどれだけ頑張るかが勝敗を左右することが多いのです。そして過去の対戦結果から見ても大接戦になっていることが多く、メンタルが勝敗の鍵といえます。



大会初日の予選トーナメントでは平城(奈良)と対戦、ダブルスを2つとも取られて負けましたが、11月の県大会の頃に比較すると全員の精神面での成長を実感できました。2日目の決勝トーナメントでは明石城西・桜宮(大阪)・葺合と勝ち進み、決勝戦は第1シードの国際情報(滋賀)との対戦となりました。ここまで勝ち上がってきたという感慨に耽っている間もなく、決勝戦は5面のコートで一斉に試合開始となりました。S1は0-6、S3は6-0で早く終わったあと、他のコートのスコアを見ると本校がすべてリードしていました。その意外な展開に驚き、その時に初めて勝利を意識しました。しかし近畿選抜7位の強豪校は簡単ではありません。S2もD2も4-1で3ゲームアップしていたのに、どんどん挽回されてしまい、どちらも5オールとなりました。D2は7-5で何とか逃げ切ったものの、最後は4番コートのS2にチームの勝敗がかかりました。近畿公立団体決勝戦、しかもポイントのかかったタイブレーク。これ以上ないと思われる場面で、S2元山のバックハンドストロークがマッチポイントでエースとなりました。その瞬間の感動は言葉になり



ません。近畿公立高大会に15回出場し、本校の過去5回の優勝も見てきましたが、今年ほど選手のメンタルの強さを感じたことはありません。本当に素晴らしい勝利だったと思います。

それから厳寒の中、早朝からナイター照明の決勝戦まで応援していただいた保護者やOGの皆さまには感謝しております。本当にありがとうございました。

⇒大会記録の詳細は兵庫県高体連テニス部ホームページに掲載されています。

<https://www.hyogo-tennis.net/koutairen/kiroku/files/2019/01/no16kinki-kouritu-girl-dantai.pdf>